

2012年3月期 決算説明会

西日本鉄道株式会社(9031)

2012年5月18日(金)

連結営業概況(12年3月期)

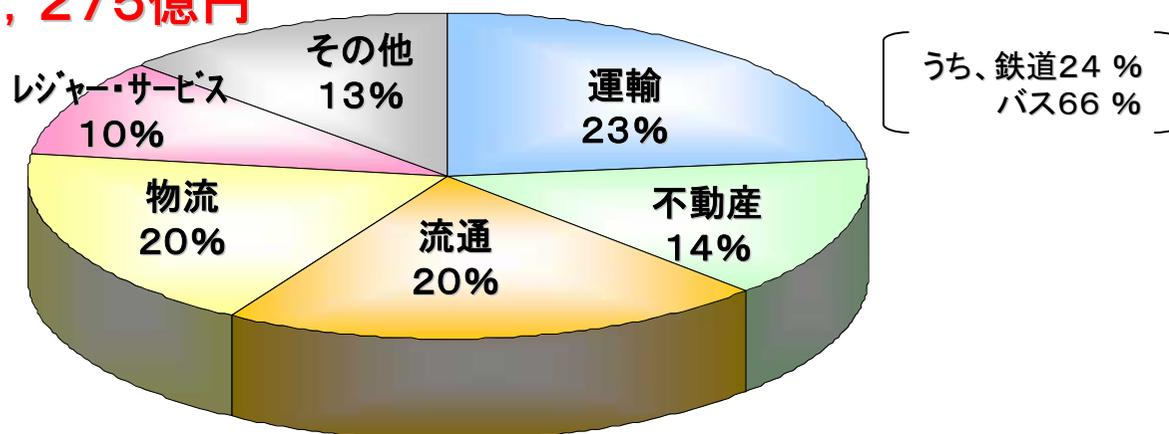


◎ グループ会社 : 子会社75社、関連会社9社

◎ 特長 □ 福岡を事業基盤とする生活関連企業…運輸業、不動産業、流通業など

□ 西鉄ブランドを基盤に域外展開…国際物流事業、ホテル事業など

連結営業収益 3,275億円



セグメント	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・サービス業	その他
営業収益	843億円	520億円	743億円	709億円	355億円	478億円
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 鉄道 ➢ バス ➢ タクシー 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 賃貸 ➢ 分譲 ➢ 管理 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ストア 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 国際物流 ➢ 国内物流 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ホテル ➢ 旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 車両整備 ➢ 建設

連結損益の実績(全業)



	12年3月期	11年3月期	増減	増減率
営業収益	3,275億円	3,239億円	36億円	1.1%
営業利益	150億円	110億円	40億円	36.5%
経常利益	136億円	92億円	44億円	47.7%
当期純利益	54億円	58億円	▲4億円	▲6.7%
減価償却費	206億円	218億円	▲12億円	▲5.5%
EBITDA	358億円	331億円	27億円	8.1%
設備投資	194億円	265億円	▲70億円	▲26.6%

➤ 営業収益(増収)

- 国際物流事業での海外子会社の増収や不動産分譲事業でのマンション販売戸数増加

➤ 営業利益・経常利益(増益)

- 各社、各事業において、事業構造の見直しや効率化に努めた結果、前年実績を上回った

➤ 当期純利益(減益)

- 独禁法関連引当金計上等により、前年実績を下回った

Nishi-Nippon Railroad Co.,Ltd.

※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費(営業費)

※ 設備投資は単純集計です。

セグメント別損益状況

1. 運輸業



	12年3月期	11年3月期	増減	増減率
営業収益	843億円	846億円	▲3億円	▲0.4%
営業利益	37億円	31億円	6億円	19.0%
減価償却費	101億円	114億円	▲13億円	▲11.4%
E B I T D A	138億円	145億円	▲7億円	▲4.9%
設備投資	89億円	78億円	11億円	14.3%

➤ 営業収益の主な増減要因

- バス事業(乗合)・・・旅客人員の増+0.1%
- バス事業(貸切)・・・貸切バス事業の規模縮小
- 鉄道事業・タクシー事業で減収

➤ 営業利益の主な増減要因

- 車両償却費の減等

～ 鉄道事業（運輸業の内訳）～



	12年3月期	11年3月期	増減	増減率
営業収益	224億円	227億円	▲2億円	▲1.0%
営業利益	27億円	30億円	▲3億円	▲9.3%
旅客収入	208億円	210億円	▲2億円	▲0.9%
旅客人員	103百万人	104百万人	▲1百万人	▲0.8%
（定期外）	48百万人	49百万人	▲1百万人	▲1.7%
（定期）	55百万人	55百万人	▲0.0百万人	▲0.0%

▶ 天神大牟田線旅客人員 ▲1.0%

- 定期外 ▲2.0%
- 定期 ▲0.1%

▶ 貝塚線旅客人員 +0.9%

- 定期外 +0.2%
- 定期 +1.6%

～ バス事業（運輸業の内訳）～



	12年3月期	11年3月期	増 減	増減率
営業収益	615億円	615億円	(注) 0.0億円	0.0%
営業利益	8億円	▲0.4億円	9億円	—

(注)バス事業内取引を除くと2億円の増収です。

乗合収入	487億円	482億円	5億円	1.1%
貸切収入	43億円	47億円	▲3億円	▲6.9%
乗合旅客人員	267百万人	267百万人	0.3百万人	0.1%
（定期外）	154百万人	152百万人	2百万人	1.1%
一般	147百万人	146百万人	1百万人	0.9%
高速	7百万人	7百万人	0.2百万人	4.1%
（定期）	113百万人	115百万人	▲1百万人	▲1.1%

2. 不動産業



	12年3月期	11年3月期	増減	増減率
営業収益	520億円	506億円	15億円	2.9%
営業利益	94億円	73億円	20億円	27.7%
減価償却費	59億円	58億円	1億円	0.9%
E B I T D A	154億円	135億円	19億円	14.1%
設備投資	49億円	101億円	▲52億円	▲51.1%

▶ 営業収益・利益の主な増減要因

- 不動産賃貸事業…新規取得物件の稼働
- 不動産分譲事業…マンション販売戸数の増、新規シニアマンションの開業

～不動産業の内訳～



《 不動産賃貸事業 》

	12年3月期	11年3月期	増 減	増減率
営業収益	267億円	264億円	3億円	1.1%
営業利益	64億円	62億円	2億円	3.4%

《 不動産分譲事業 》

	12年3月期	11年3月期	増 減	増減率
営業収益	180億円	168億円	12億円	7.4%
営業利益	26億円	9億円	16億円	177.5%
販売戸数	625区画	627区画	▲2区画	▲0.3%
(マンション)	307戸	282戸	25戸	8.9%
(戸 建)	318区画	345区画	▲27区画	▲7.8%

3. 流通業



	12年3月期	11年3月期	増減	増減率
営業収益	743億円	768億円	▲25億円	▲3.2%
営業利益	7億円	8億円	▲1億円	▲12.2%

減価償却費	9億円	8億円	0.1億円	2.1%
EBITDA	16億円	17億円	▲1億円	▲4.0%
設備投資	12億円	13億円	▲1億円	▲5.8%

▶ 営業収益の主な増減要因

- ストア事業…(株)あんくるふじやの連結子会社化による増収(売上対象4ヶ月)
(株)西鉄ストアでの前期決算期変更(前期売上対象13ヶ月)や競合店の影響などによる減収

4. 物 流 業



	12年3月期	11年3月期	増 減	増減率
営業収益	709億円	676億円	33億円	4.9%
営業利益	18億円	10億円	8億円	80.9%
減価償却費	8億円	8億円	▲1億円	▲7.8%
E B I T D A	26億円	18億円	7億円	39.9%
設備投資	5億円	6億円	▲1億円	▲21.9%

▶ 営業収益の主な増減要因

- 国際物流事業…海外子会社の増収、燃油サーチャージの高止まり

▶ 営業利益の主な増減要因

- 国際物流事業…原価の低下などによる粗利の増加

～物流業の内訳～



《国際物流事業》

	12年3月期	11年3月期	増減	増減率
営業収益	695億円	670億円	25億円	3.8%
営業利益	16億円	8億円	9億円	111.9%
航空輸出(重量)	125千トン	131千トン	▲6千トン	▲4.6%
航空輸入(件数)	382千件	398千件	▲16千件	▲4.1%
海運輸出(TEU)	45千TEU	39千TEU	6千TEU	15.8%
海運輸入(TEU)	51千TEU	47千TEU	4千TEU	9.1%

※参考(海外子会社取扱高)

航空輸出(重量)	69千トン	66千トン	2千トン	3.3%
航空輸入(件数)	262千件	278千件	▲16千件	▲5.6%
海運輸出(TEU)	32千TEU	26千TEU	5千TEU	20.7%
海運輸入(TEU)	29千TEU	27千TEU	2千TEU	6.0%

5. レジャー・サービス業



	12年3月期	11年3月期	増減	増減率
営業収益	355億円	347億円	7億円	2.1%
営業利益	1億円	▲2億円	3億円	—
減価償却費	23億円	21億円	2億円	8.0%
E B I T D A	25億円	20億円	5億円	23.6%
設備投資	28億円	42億円	▲14億円	▲33.0%

➤ 営業収益の主な増減要因

- ホテル事業…新規ホテル開業による増収
- その他サービス事業…空港ハンドリング業務の新規受託により増収

➤ 営業利益の主な増減要因

- 旅行事業…構造改革により黒字転換

～レジャー・サービス業の内訳～



《ホテル事業》

	12年3月期	11年3月期	増減	増減率
営業収益	170億円	156億円	(注) 14億円	9.0%
営業利益	▲4億円	▲3億円	▲1億円	—

(注)ホテル事業内取引を除くと、実質的には7億円の増収です。

《旅行事業》

	12年3月期	11年3月期	増減	増減率
営業収益	44億円	46億円	▲2億円	▲4.0%
営業利益	1億円	▲2億円	2億円	—

《その他レジャー・サービス業》

	12年3月期	11年3月期	増減	増減率
営業収益	197億円	195億円	2億円	1.2%
営業利益	6億円	4億円	2億円	45.3%

・その他レジャー・サービス業…娯楽事業、飲食事業、広告事業、その他サービス事業

6. その他



	12年3月期	11年3月期	増減	増減率
営業収益	478億円	475億円	3億円	0.7%
営業利益	1億円	▲6億円	7億円	—
減価償却費	14億円	15億円	▲1億円	▲6.6%
E B I T D A	15億円	9億円	6億円	64.1%
設備投資	10億円	24億円	▲14億円	▲56.7%

➤ 営業収益の主な増減要因

- 建設資材事業での受注増

➤ 営業利益の主な増減要因

- 前期におけるバス車体製造事業廃止に伴う損失の解消

連結貸借対照表



		12/3月末	11/3月末	増減
資産	流動資産	939億円	795億円	144億円
	固定資産	3,185億円	3,175億円	11億円
	合計	4,124億円	3,970億円	155億円
負債・純資産	流動負債	1,133億円	984億円	148億円
	固定負債	1,895億円	1,919億円	▲24億円
	(有利子負債残高)	1,731億円	1,761億円	▲29億円
	負債合計	3,028億円	2,903億円	124億円
	純資産合計	1,097億円	1,066億円	31億円
合計		4,124億円	3,970億円	155億円

➤ 資産の主な増減要因

- 現金及び預金の増
- 販売土地及び建物の増

➤ 負債の主な増減要因

- 支払手形及び買掛金の増
- 未払法人税等の増

➤ 純資産の主な増減要因

- 当期純利益の計上等による利益剰余金の増

連結キャッシュ・フロー



	12年3月期	11年3月期	増減
営業活動	300億円	293億円	7億円
（税引前当期純利益）	106億円	93億円	14億円
（減価償却費）	206億円	218億円	▲12億円
投資活動	▲160億円	▲231億円	71億円
（固定資産の取得）	▲179億円	▲249億円	69億円
財務活動	▲69億円	▲70億円	2億円
（借入金・社債）	▲39億円	▲42億円	3億円
現金等の期末残高	333億円	263億円	70億円

2012年度 事業計画

第12次中計及び 2012年度事業計画の方針等



＜第12次中期経営計画 グループビジョン＞

「**変革に挑む西鉄グループ**」

～時代に適応した全事業の構造転換と、新たなお客さま満足の創造～
～私たち一人ひとりの意識改革により実現を目指します～

＜2012年度 事業計画 基本方針＞

『第12次中計で掲げた施策の着実な実行による収益力の強化』

『成長ステップに向けた新たなビジネスモデルの開拓』

重点戦略

事業の構造改革・ 再編の推進

- ◆事業モデルの変革
- ◆グループ事業の再編
- ◆間接コストの圧縮
- ◆資産効率の向上

新たな事業価値の創造

- ◆福岡都心部への集客強化
- ◆グループ連携・
地域密着化の推進
- ◆新たな成長市場への対応
強化・成長分野への積極投資
- ◆人材力の向上

CSR経営の更なる深化

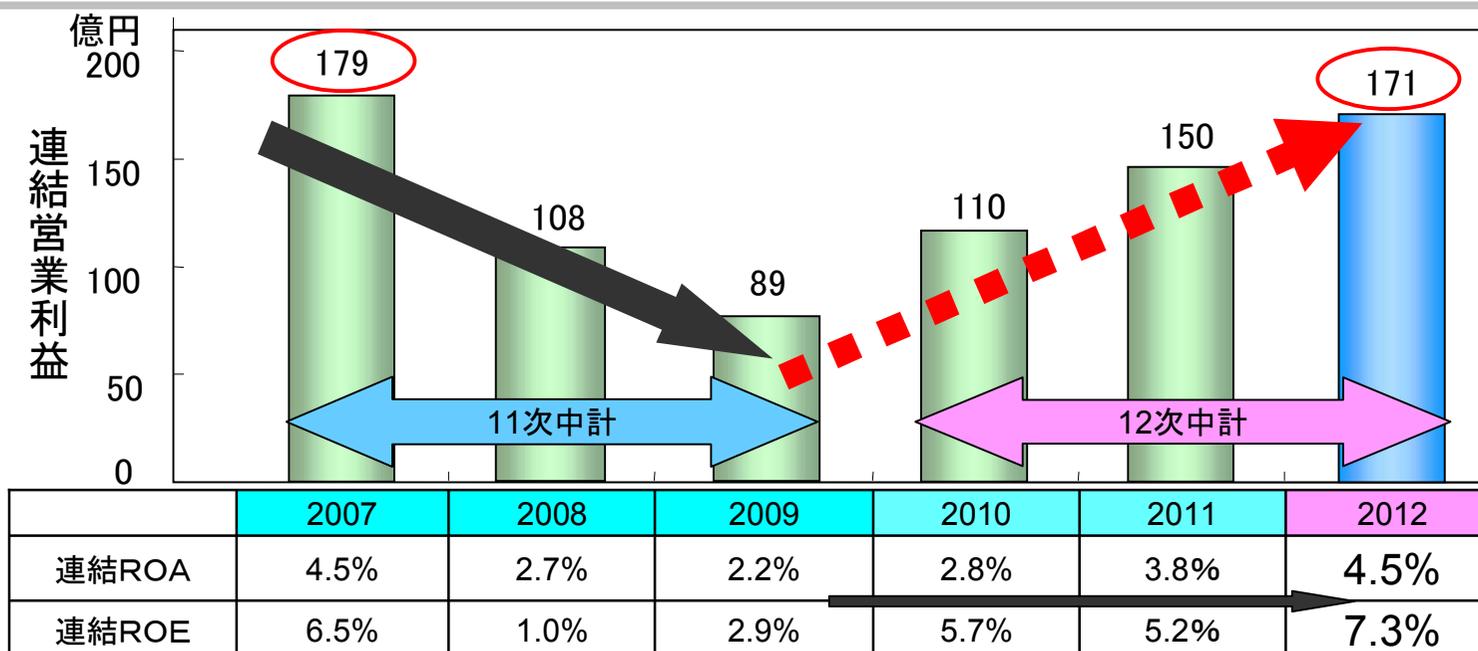
- ◆安全・リスクマネジメント
の継続的推進
- ◆CSの向上、
地域・社会との共生
- ◆環境マネジメントの
取組み推進

第12次中計の業績目標の基本的な考え方



リーマンショック後の売上・利益の落ち込みの回復

新たな成長に向けた基盤づくり
 《 事業の構造改革・新たな収益モデルの構築 》



※2007～2011年度・・・実績、2012年度・・・第12次中計

《事業の構造改革・再編の推進》 各事業の構造改革進捗状況



	営業利益 2009実績	営業利益 2010実績	2011 実施施策	営業利益 (実績)	2012 事業計画	営業利益 (予想)	中計目標 営業利益
バス 事業	△21 億円	△0 億円	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品・サービスの導入 ・新規路線需要への対応 ・法人営業強化 ・路線収支改善に向けた行政との協議の実施 	8 億円	<ul style="list-style-type: none"> ・新規需要の取り込み (路線新設、新商品開発等) ・路線収支改善に向けた行政との協議推進 	11 億円	11 億円
旅行 事業	△7 億円	△2 億円	<ul style="list-style-type: none"> ・組織・経営体制の見直し ・高収益商品の企画・販売 	1 億円	<ul style="list-style-type: none"> ・要員の適正化 ・特定マーケットへの営業強化 ・ビジネストラベルマネジメント受注拡大 	1 億円	3 億円
ホテル 事業	△5 億円	△3 億円	<p>【シティホテル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食エリアをはじめとした機能の再配置の実施 	△4 億円	<ul style="list-style-type: none"> ・営業一元化(グループホテル) ・厨房改革 ・適正人員の確立 	11 億円	8 億円

《新たな事業価値の創造》 福岡都心部への集客強化



商業施設における集客強化

- ◆ ソラリアプラザリニューアル
 - ▶ ターゲットの見直し
 - ▶ フロア改装
 - ▶ 警固公園再整備にあわせた動線見直し



大規模リニューアル計画に基づいたステップ



地域やグループとの連携による共同イベントの開催

- ◆ 天神地区事業者連携での共同販促キャンペーンの実施
- ◆ 賑わいイベント企画、天神エリアの魅力発信



《新たな事業価値の創造》 福岡都心部への集客強化



バス・鉄道による集客強化

◆ 天神バスセンターのリニューアル

- ▶ 店舗・待合スペース・乗降場等の全面リニューアル
- ▶ 乗継拠点としての利便性向上

◆ 商業と連携した集客強化

- ▶ バス・鉄道・商業施設の連携による販促キャンペーンの実施

◆ 「福岡オープントップバス」の運行 (2012年3月～)

- ▶ 福岡市内の主要観光スポットを巡る2階建てバス



光を浴び、風を感じる。街の音や香りを楽しみ、人と触れ合う。福岡市内の観光スポットをご案内する屋根のない二階建てバス「福岡オープントップバス」は、新しいふくおか観光の形です。

市内観光・二階建てオープンバス
FUKUOKA OPEN TOP BUS
2012.3.24 DEBUT!

料金	1,500円
大人	
小人	4歳以上～小学生 750円

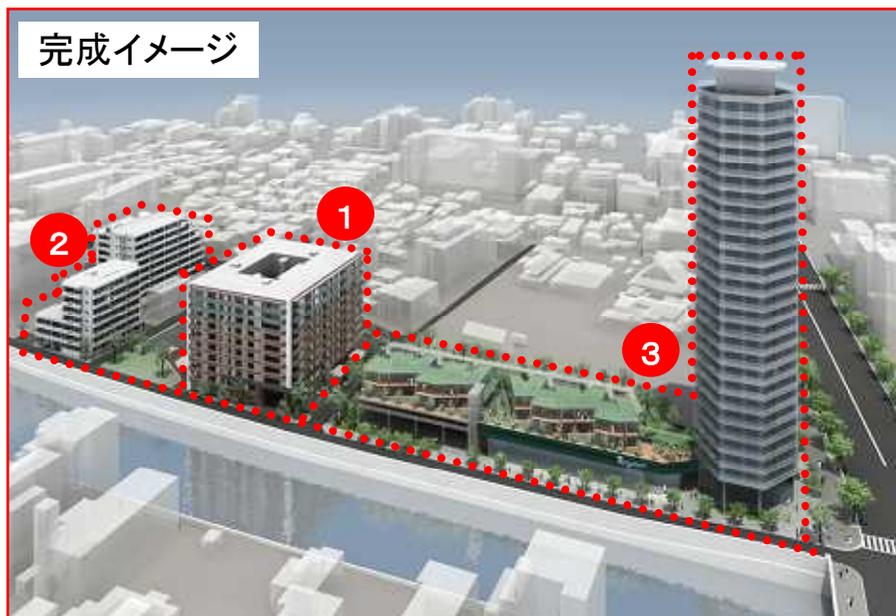
《新たな事業価値の創造》 地域ニーズへの対応強化



まちづくり

◆ 福岡中心部(福岡市中央区地行)での大型複合開発

- 敷地4,700坪、建物10,000坪超
- 分譲マンション3棟、賃貸マンション(商業施設併設)



- 1 分譲ゾーン①(2012年3月竣工、117戸)
- 2 分譲ゾーン②(2012年12月竣工予定、75戸)
- 3 賃貸・商業ゾーン(2014年8月竣工予定、244戸)



位置図(福岡市中央区地行)

《新たな事業価値の創造》 地域ニーズへの対応強化



まちづくり

◆ 沿線まちづくりプロジェクトの推進

- 沿線のランドデザインの作成(久留米・柳川等)
- グループ横断プロジェクトによるまちづくり推進

◆ 沿線の開発

- 三国が丘駅西側用地(簡保レクセンター跡地)の開発
 - 所在地:福岡県小郡市(三国が丘駅)
 - 土地面積:約11.7ha
 - 用途:住宅(2015年販売開始予定)、交流施設 他
 - 備考:急行停車駅(2012年3月ダイヤ改正により)

沿線まちづくりプロジェクト発足

沿線状況の把握(駅勢圏調査の実施)

各駅の課題の抽出・対応策検討

鉄道駅の将来ランドデザインの策定

コンパクトシティの実現

沿線の魅力向上



三国が丘駅西側用地 位置図

《新たな事業価値の創造》 地域ニーズへの対応強化



交通サービスの強化

◆ バス路線の新設・見直し

- 2012年夏の福岡都市高速全線開通に合わせた路線の新設
- 交通空白地域での需要の取り込み
- コミュニティバスの新規受注および運行継続

◆ 高速バス予約システムの再構築

- 予約システムの利便性向上、web予約の促進によるコストの低減
- 規制緩和に伴う弾力的な運賃制度の導入

◆ 2011年7月に福岡市と公共交通のあり方検討開始

ICカードの普及と活用

◆ 全国相互利用(2013年春)に向けた対応

発行枚数
162万枚
(3/31現在)



《新たな事業価値の創造》 新たなマーケットへの進出



ホテル

◆ ソラリア西鉄ホテル (宿泊主体型アップグレードホテル)

- 銀座(2011年9月開業)
- 鹿児島(2012年5月17日開業)
 - JR鹿児島中央駅正面(徒歩約2分)の新ランドマーク
 - ロビーや客室からの桜島ビュー
 - 客室数:232室(シングル126室・ダブル65室・ツイン41室)



ソラリア西鉄ホテル鹿児島

オフィスビル

◆ 西鉄日本橋ビル(2012年5月31日竣工予定)

- 物件概要
 - 地上8階、地下1階
 - 延床面積:6,816㎡(2,061坪)



西鉄日本橋ビル

《新たな事業価値の創造》 新たなマーケットへの進出



分譲マンション

◆ リノベーション事業

■ 一棟リノベーション

- 所在地:福岡市中央区大名地区
- 竣工:2013年3月竣工予定
- 販売総戸数:51戸

◆ 建替事業への参入

◆ 他社とのマンション共同開発

■ 【JR九州】熊本「MarkS city the大江」

(2013年2月竣工予定、151戸)

福岡「MarkS city 大橋」

(2013年7月竣工予定、218戸)

■ 【双日九州】鹿児島「レジオン・サンリヤン照国町」

(2013年3月竣工予定、101戸)



「MarkS city the 大江」イメージ



「レジオン・サンリヤン照国町」イメージ

《新たな事業価値の創造》 新たなマーケットへの進出



シニアマンション

- ◆ サンカルナ小倉大手町の建設
(2013年6月開業予定)
- ◆ 福岡都市圏での新設を検討

賃貸マンション

- ◆ 賃貸マンションの拡大



「サンカルナ小倉大手町」イメージ



<既存物件の概要>

物件	戸数	入居率
平尾	209戸	95.4%
西新	122戸	96.4%
県庁口	126戸	98.2%
大橋	35戸	96.4%
合計	492戸	96.4%

※ 入居率は2011年度累計

《新たな事業価値の創造》 流通業の強化



スーパーマーケット事業

◆ スクラップ&ビルド、店舗改装の実施

- 新設:3店舗、閉鎖:4店舗
- 改装:10店舗(前年度:3店舗)

◆ お買いもの代行サービスの開始

- 自宅にしながら「にしてつストア」の商品の注文・受け取りが可能
- 2012年5月28日よりサービススタート

◆ 西鉄ストア・あんくるふじやのシナジー効果

- 物流・仕入先統合など業務効率化
- ノウハウの共有化 など



スピナ 穴生中央店(2011年11月開業)



あんくる夢市場 鹿島店(2011年10月開業)

《新たな事業価値の創造》 国際物流事業の拡大

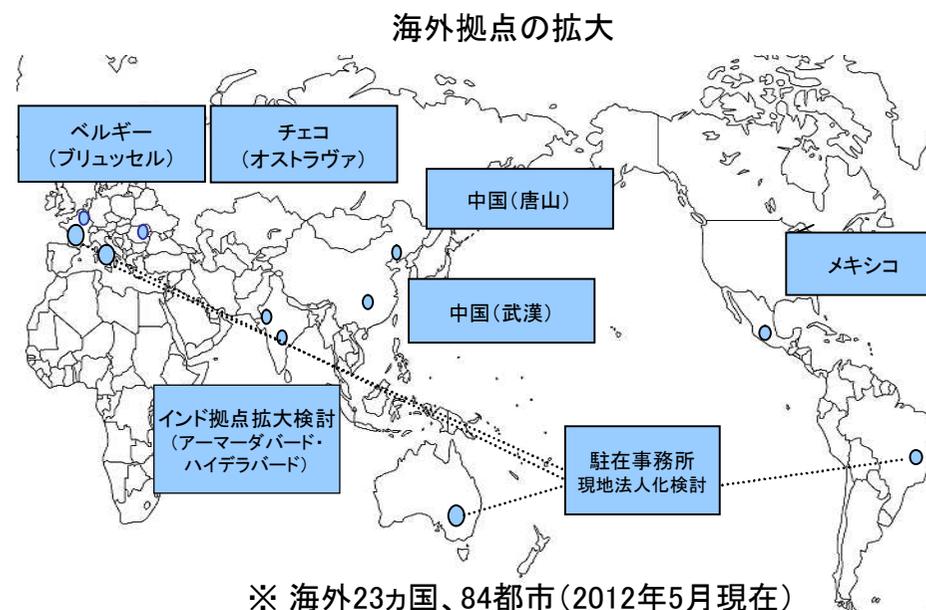


海外拠点の拡大

- ◆ 海外ネットワークの拡充
 - 支店など営業拠点拡大
 - メキシコに現地法人設立

海運・ロジスティクス事業の強化

- ◆ 専任部署の新設
 - 機能の一元化、事業ノウハウの集約・蓄積・人材育成
- ◆ 海運事業の強化
 - 営業力強化
 - 仕入れ一元化によるコスト減
- ◆ ロジスティクス事業の強化
 - 3PL事業への注力・営業強化



《新たな事業価値の創造》 国際物流事業の拡大



主要拠点のゲートウェイ強化

◆ アジア

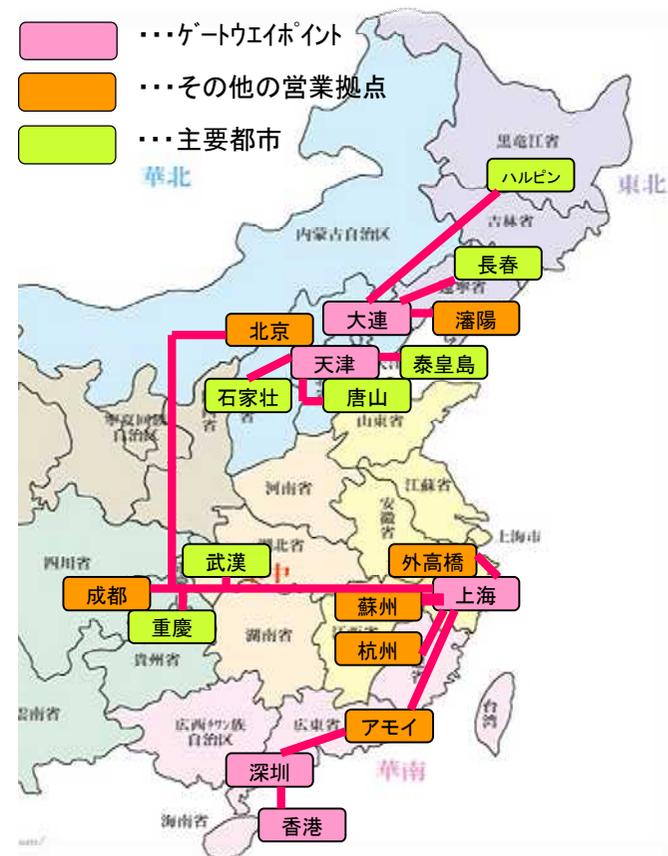
- 大連、天津、上海、深圳、香港のゲートウェイ強化
 - 国内配送網の拡大・拡充
- セールスの体制強化
 - 要員の増強
 - 中国内の台湾系企業への営業強化

◆ 欧州

- マルチゲートウェイを活用した販売戦略
 - フランクフルト、ウィーン、アムステルダム

◆ 北米

- ゲートウェイとしてのハブ機能強化(ロサンゼルス)
- セールス要員の拡充



CSR経営の更なる深化



安全・リスクマネジメント

- ◆ 安全性向上策の実施
 - ▶ IT機器(ドライブレコーダー等)の導入・活用、
ヒューマンエラー未然防止活動 等
- ◆ 安全投資の実施
 - ▶ 高架耐震補強、ホーム改良 等

CS向上、地域・社会との共生

- ◆ お客さま志向の企業風土醸成
 - ▶ 「あいさつ・美化運動」の継続実施
- ◆ サービス現場の対応力強化と職場環境の整備

環境マネジメント

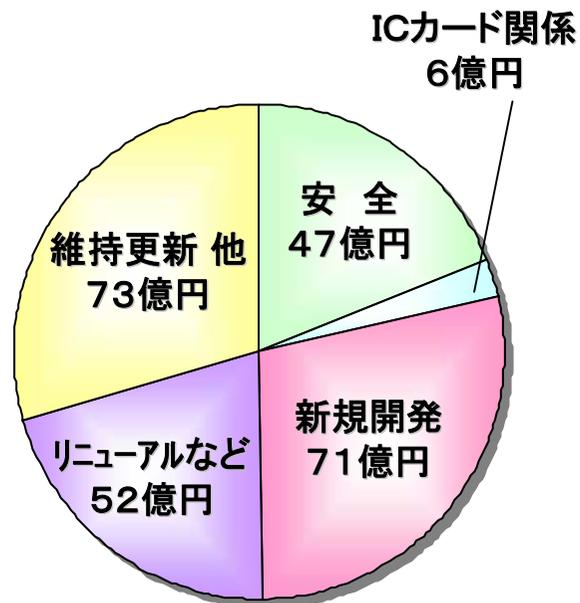
- ◆ 省エネ・節電対策
 - ▶ 照明のLED化、エコドライブの推進、N-ecoプロ活動の展開



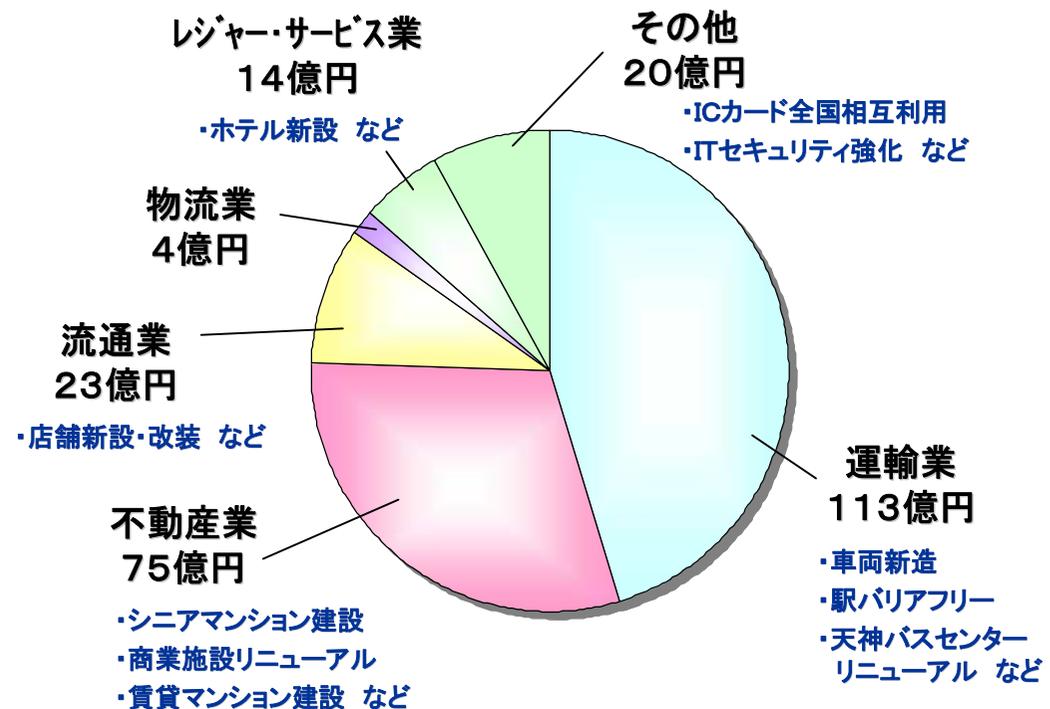
2012年度 設備投資計画

【2012年度総投資額 249億円】

◎ 投資種別の内訳



◎ セグメント別の内訳



◎ 投資額の推移

年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度計画
総投資額	373億円	265億円	265億円	194億円	249億円

2012年度 収支予想

2012年度 連結収支予想



	13年3月期 (予想)	12年3月期 (実績)	増減額	増減率
営業収益	3,375億円	3,275億円	100億円	3.1%
営業利益	165億円	150億円	15億円	10.0%
経常利益	149億円	136億円	13億円	9.8%
当期純利益	88億円	54億円	34億円	63.1%
減価償却費	203億円	206億円	▲3億円	▲1.2%
E B I T D A	371億円	358億円	12億円	3.5%
設備投資	249億円	194億円	55億円	28.2%

2012年度 セグメント別収支予想



		13/3期 (予想)	12/3期 (実績)	増減額	営業利益の増減要因
運 輸 業	営業収益	837億円	843億円	▲6億円	● 鉄道事業・バス事業の増益
	営業利益	43億円	37億円	6億円	
不 動 産 業	営業収益	521億円	520億円	1億円	● 不動産分譲事業の減益 (粗利の減少)
	営業利益	80億円	94億円	▲14億円	
流 通 業	営業収益	837億円	743億円	94億円	● (株)あんくるふじやの連結子会社化 (売上対象当期12ヶ月、前期4ヶ月)
	営業利益	8億円	7億円	1億円	
物 流 業	営業収益	714億円	709億円	5億円	● 国際物流事業の増益
	営業利益	20億円	18億円	2億円	
レジャー・サービス業	営業収益	387億円	355億円	32億円	● ホテル事業の増益
	営業利益	17億円	1億円	16億円	
そ の 他	営業収益	472億円	478億円	▲6億円	● 金属リサイクル事業の赤字解消
	営業利益	3億円	1億円	2億円	

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

<参考> 2012年度 セグメント別予想(減価償却費・EBITDA・設備投資)



		13/3期(予想)	12/3期(実績)	増減額
運 輸 業	減 価 償 却 費	97億円	101億円	▲4億円
	E B I T D A	140億円	138億円	2億円
	設 備 投 資	113億円	89億円	24億円
不 動 産 業	減 価 償 却 費	61億円	59億円	2億円
	E B I T D A	143億円	154億円	▲11億円
	設 備 投 資	75億円	49億円	25億円
流 通 業	減 価 償 却 費	9億円	9億円	1億円
	E B I T D A	18億円	16億円	2億円
	設 備 投 資	23億円	12億円	10億円
物 流 業	減 価 償 却 費	7億円	8億円	▲1億円
	E B I T D A	27億円	26億円	1億円
	設 備 投 資	4億円	5億円	▲1億円
レジャー・サービス業	減 価 償 却 費	23億円	23億円	▲0.2億円
	E B I T D A	40億円	25億円	15億円
	設 備 投 資	14億円	28億円	▲15億円
そ の 他	減 価 償 却 費	14億円	14億円	▲0.2億円
	E B I T D A	17億円	15億円	1億円
	設 備 投 資	20億円	10億円	10億円

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

<参考> 2012年度 主なセグメント収支予想



			13/3期 (予想)	12/3期 (実績)	増減額
運輸業	鉄道事業	営業収益	222億円	224億円	▲2億円
		営業利益	32億円	27億円	5億円
	バス事業	営業収益	611億円	615億円	▲4億円
		営業利益	11億円	8億円	2億円
不動産業	不動産賃貸事業	営業収益	267億円	267億円	0.4億円
		営業利益	68億円	64億円	5億円
	不動産分譲事業	営業収益	179億円	180億円	▲1億円
		営業利益	8億円	26億円	▲17億円
物流業	国際物流事業	営業収益	708億円	695億円	13億円
		営業利益	18億円	16億円	2億円
サービス業 レジャー・	ホテル事業	営業収益	205億円	170億円	35億円
		営業利益	11億円	▲4億円	15億円
	旅行事業	営業収益	47億円	44億円	3億円
		営業利益	1億円	1億円	1億円

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

※ 営業収益、営業利益は単純集計です。



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含んだものです。将来の業績は経営環境の変化などにより目標と異なる可能性があることにご留意ください。